

# 一目置かれる名古屋の手土産セレクション

NAGOYA souvenir selection

コピーライター、プランナー、コラムニスト。  
工芸・着物・伝統芸能、職人の世界観、  
現代アートや芸術全般、日仏文化比較、  
紀行文などのテーマを主に手掛ける。  
やっとかめ文化祭ディレクター。



コピーライター  
近藤 マリコ

はじめて訪問する企業やご挨拶に伺う先に、  
気の利いた手土産を持っていけば、相手に喜んでいただけるだけでなく、  
そのセンスの良さに好感度アップという効果もついてきます。  
季節はもちろん、訪問先の人数や職種によって、  
選ぶ手土産は変わってくるはず。  
ここでは、シーンに応じて使える  
様々な名古屋の手土産をご紹介します。

vol.19  
敷島製パン株式会社  
shikishimaseipan

## 小倉を使ったパンは名古屋土産になる！



サンドロール 小倉&ネオマーガリン オープン価格  
コンビニエンスストアやスーパーマーケットで販売。

敷島製パンのサンドロールシリーズは、愛知・岐阜・三重を中心  
に、本州の西日本限定で販売されている。関東や東北の店頭には  
なく、関西方面でも取扱量は限られるとのこと。サンドロール  
シリーズの中でも特に「小倉&ネオマーガリン」は中部地域の  
“小倉トースト好き”がそのまま商品になったようなパンなの  
で、実は名古屋土産としてとても喜ばれるのである。

元々は敷島製パンの工場ですべて焼きたてのあんパンに  
マーガリンを塗って食べると美味しかったことから、商品開発  
につながったのだとか。以来、60年近く人気商品として、わた  
したちの胃と心を満たし続けている。口どけの良いパン・さっぱり  
味のおあん・マーガリンがほどよい調和となって、なんとも懐かし  
い気持ちになるのだ。

この取材中、スタッフがそれぞれ「小倉&ネオマーガリン」の思  
い出を語り出すと止まらなくなってしまった。兄弟で分け合っ  
ておやつにしたとか、社会人になって半年間は毎日のランチにし  
たなど、話題が尽きない。敷島製パンでデータをとったところ、朝  
ごはんを食べることが多いという結果が出たそう。中部地域以外  
の企業を訪問する時に、おしゃれなパッケージに入れて、自分の  
思い出話とともに手土産にしてみたいはかかろうか。

### Other item

このほかに...  
お土産情報



オープン価格

#### ① 牛乳パン

長野地区で昔から牛乳パンが有名  
なことから、同地区の従業員が熱意  
をもって開発した商品。ミルクのや  
さしいクリームを信州産牛乳を練  
り込んだふんわり食感のパンでサ  
ンドしている。レトロなパッケージ  
デザインもかわいらしい。



オープン価格

#### ② なごやん

名古屋の観光土産として昭和33年  
(1958年)から販売している不動  
の人気和菓子で、しっとりした黄  
味あんを包んで焼き上げたもの。愛  
知県産小麦を使った生地が素朴な  
味わいで印象的。

Pasco

大正9年(1920年)創業の日本でも老舗といわれる製パン企業で、発祥  
は製粉所としてスタートした。第一次世界大戦中にドイツ人捕虜の指  
導により、パン作りに取り組んだのが製パン事業のきっかけというエ  
ピソードを持っている。その後ドイツ人の製パン技師を招聘し、敷島製  
パン株式会社を創業した。現在は、Pasco(Pan Shikishima Company)の  
頭文字からの造語)の商品ブランドで広く知られている。

### 敷島製パン株式会社

東区白壁5-3  
0120-084-835  
(月曜～土曜9:00～17:00受付)  
<https://www.pasconet.co.jp>

